

水道課からお知らせ

合併処理浄化槽設置整備事業補助金の金額が改正になりました

大崎町では、快適な住環境の整備を図るため、公共下水道の認可計画区域外を対象に、家庭排水の処理施設である合併処理浄化槽の普及促進に努めています。

この合併処理浄化槽設置整備事業は、浄化槽の設置に要する個人負担の一部を補助する事業ですが、この度、国の補助基準額が改正になったことから、別表のとおり町の補助額も改正になりました。

(別表)

人 槽 区 分	補 助 額
5 人 槽	332,000円
6～7人槽	414,000円
8～10人槽	548,000円

既設の単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽を設置する場合、上記補助額に60,000円を限度として加算することができます。

人材育成基金を活用しませんか！

大崎町では、「自ら考え、自ら行なう地域づくりの指導者となる人材の育成」を目的とする研修等への参加を円滑かつ効率的に行なうために、人材育成基金を設けています。

この基金は、大崎町のために、何らかの形で貢献できる人を育てるため、その研修等にかかる費用を、補助しようとするものです。

いくつかの制約はありますが、研修等の計画をお持ちの方は、役場まちづくり推進室（TEL 476 - 1111 内線 220）へご相談してみてください。

今回は、平成17年度に『大崎町青少年・一般海外研修派遣事業』に参加された、弓削友希菜さん（鹿屋女子高3年生）を紹介します。

弓削さんは、研修後もお世話になったホストファミリーとメールによる交流が続いており、現在も続けていらっしやいます。

この事業は、高校生・一般を対象に夏休みの1か月間、アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市の一般家庭にホームステイし、現地の学校（ノースウエスト高校）に通いながら、歴史や文化を学び、生活体験・社会体験等を通して相互理解を深め、国際化時代にふさわしい個性豊かでたくましい青少年の育成を図ることを目的に、平成14年度から始まりました。

利用者の声



弓削 友希菜さん
(鹿屋女子高3年)

この事業に申し込んだきっかけ

私が海外研修に応募した理由は、外国にとっても興味があり、実際、現地の英語と触れあってみたく思ったからです。私は中学生のときに、この企画を知り、「絶対、高校生になったら応募する」と決めていました。海外に行って英語が学べるなんて、こんなチャンスはないと思ったからです。

英語に触れ、英語を勉強すると共に、自分の人見知りなところや自立していない心も、この海外研修をきっかけに、もっと積極的になりたいということも、申し込みの動機の一つでした。